

基本計画の検討項目

第1回	9月12日(日)	第1章 事業の概要	第3回	12月 予定	第7章 跡地利用計画
		第2章 受入対象廃棄物・受入管理計画			第8章 運営・維持管理計画
		第3章 整備計画地の概要	第4回	1月頃予定	
第2回	10月30日(土)	第4章 施設計画		基本計画案とりまとめ	
		第5章 併用施設の検討		2月頃予定	
		第6章 環境保全計画		市民報告会	
	12月4日(土)				
	中間報告会(日立市民会館)				

日立市民向け基本計画策定委員会 中間報告会

12月4日(土)日立市民向け中間報告会が日立市民会館で開催されました。始めに県から今までの検討項目と内容、委員の意見、今後の予定について報告がありました。その後、市民からは「激甚災害等の線状降水帯による雨量や巨大地震による原発事故発生時の対応について」の質問があり、県は「今後検討します」という回答でした。また、環境への影響や搬入トラックの通行するルートや、新設道路の一刻も早い着工を希望する声、さらには地域振興についての要望も出されました。



参加した人の感想

住民にとっては施設を造らないことに越したことはありません。しかし、もし造るのであれば住民生活へのマイナス影響を限りなくゼロに近づける施設や道路の安全確保は最優先課題です。今回の質疑応答を通じて絶対賛成、絶対反対の二元論だけでなく、昨年の諏訪学区住民説明会のように落ち着いて話が聞けて質問ができる場がほしいと強く感じました。県には前回のように諏訪学区住民向けの住民報告会を開催頂き、建設予定地の住民だからこそ気付く、不安解消に向けた有意義な議論の場を設けて頂きたいと存じます。

県が計画しているスケジュール

2018～19年度	基本方針・整備可能地検討
20～21年度	候補地決定・地元調整
20～22年度	基本計画・用地取得・環境影響評価・実施設計
23～25年度	建設工事
25年度～	供用開始

編集後記

基本計画策定委員会が開催中です。県や市には私たち住民がこれからも安全安心に暮らしていけるように、私たちの不安や気づきをしっかり委員会に反映して頂き、安全な施設や道路にすることと、住民の知恵も生かした住民参加型の行政プロセスを築かれることを切に願っております。令和の時代は中庸の精神と先憂後楽でいきたいものです。



かんきょう 言取言方

第7号 令和4年1

諏訪学区環境保全委員会

発行 総務広報部会

kankyosuwa@gmail.com

令和4年の新年を迎えて



謹んで新年のお祝いを申し上げます。地域の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和2年5月の県知事の発表以来、諏訪学区では、産廃最終処分場に対する自治会単位の説明会やエコフロンティアかさまの見学会などを実施してきました。そのような中、諏訪学区環境保全委員会を令和2年12月に発足させることができました。地域の皆様がまずは産廃最終処分場に関する正確な知識を得て頂き、やみくもに反対、賛成をいうことなく、自分の考えに沿った行動をとっていただくことが大切と考えたからです。おかげさまで諏訪の皆様の知識や関心は他の近隣の地域に比べてもとても大きなものがあると感じられます。

令和3年8月に市長の産廃最終処分場の受入表明がありました。諏訪学区環境保全委員会では9月に125項目に及ぶ委員会からの意見、提案、要望のまとめを茨城県に提出しています。県との数度にわたるやり取りの中ですぐには回答の出来ないものを除き、ほぼ回答を頂きました。

諏訪学区環境保全委員会 委員長 持田 幸雄

県では、市長の受け入れ表明に伴い、本格的に処分場建設に向けての動きが始まり、学識経験者等のメンバーによる基本計画策定委員会が第1、2回と開催され、12月4日には日立市民のために中間報告会も開催されました。諏訪学区では第1、2回の後に県の担当者より説明を受けています。

広報紙「かんきょう諏訪」も今回で7号の発行となります。自治会長の皆様やコミュニティの役員の方には会議の席上で県や市の発行する資料も含めて出来得る限りの情報を渡していますが、その情報を凝縮して掲載していますので、是非ご覧いただけたら幸いです。今後も諏訪の住民だけが不利益にならないように、自治会の皆様やコミュニティの役員の方の協力を得て茨城県や事業団、日立市に働きかけていきたいと思います。

最後になりましたが、地域の皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

2020年5月26日以降の主な出来事

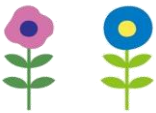
(諏訪学区を中心に)

2020年	5月26日	大井川知事が日立市諏訪町大平田鉱山跡地を候補地として発表
	27日	県担当者が諏訪コミュニティ正副会長に新聞報道の説明
	6月5日	県作成の説明会予定表を持参
	10日	諏訪学区では自治会単位での説明会の決定
	21日	県が諏訪学区住民説明会を開始(～8月30日)(合計31回)
2021年	9月	エコフロンティアかさま見学会(合計3回)
	10月	諏訪学区環境保全委員会発足決定
	12月	第1回環境保全委員会
	3月	環境保全委員会で課題や論点の深堀
	"	県フォローアップ説明会(合計5回)
	4月	県へ104項目の意見、提案、要望のまとめを提出(後に125項目となる)
	5月	環境保全委員会で各部からの調査発表と意見交換
	8月5日	日立市長が県に受入を表明
	9月12日	県第1回基本計画策定委員会
	10月30日	県第2回 "
	11月29日	諏訪学区拡大環境保全委員会
	12月	環境保全委員会で安全安心を守るための議論
	4日	日立市民会館で県基本計画策定委員会の中間発表
	14日	市議会特別委員会

県基本計画の検討項目と県が任命した委員からの意見

(中間報告会資料より抜粋)

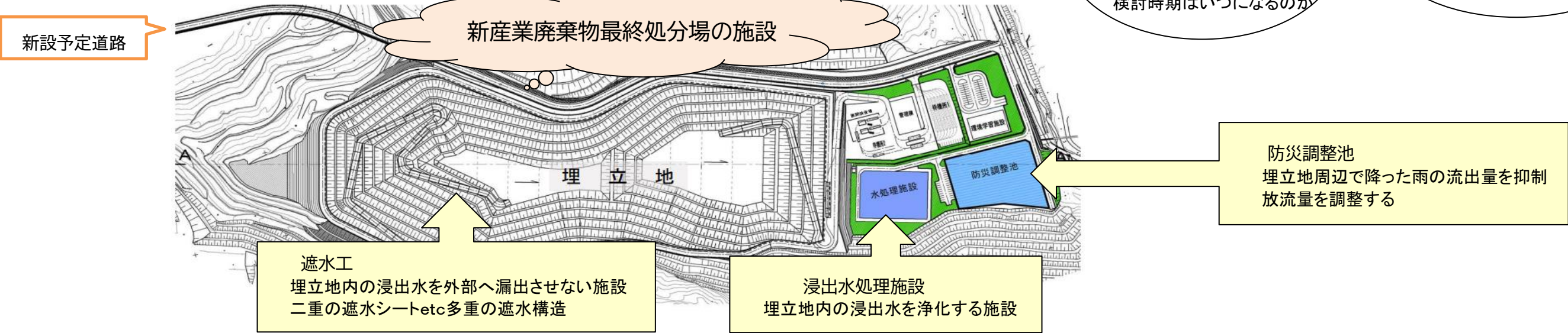
検討項目	委員からの意見
整備の基本理念	・地域住民の安全確保はもとより、生活環境の保全と不安の解消を図るため近年の自然災害も踏まえた万全の対策を講じることを第一に求める
施設配置計画	・搬入道路が埋立地の上部につけられ、最近の大雨にも雨水排除に効率的に活用できるので、配置も良いと思う
埋立計画	・市民から埋立地の拡張や埋立期間の延長を不安視する意見が多数出ている それに対して、埋立期間を例えば23年間を最長期間と限定することによって不安解消につながるのではないか
造成計画 貯留構造物	・私たち委員が専門的な立場から学術的に関わり、しっかりと監視していきたい
遮水構造	・国で定めている二重遮水シートで十分安全が確認できるのだが、安心を高める意図で複合の更に多重な色々な要素技術を用いるということを市民に認識してもらう ・今回の遮水工は遮水機能としては大変安全性が非常にしっかりとしたものになる
浸出水処理 施設の規模	・通常の産業廃棄物最終処分場の設計と比べてもかなり余裕があるように感じる ・内部貯留になるケースはかなり少ないのではないか ・エコフロンティアかさまの実績から考えても、無機性廃棄物であることから、避難回避的 内部貯留で維持管理されても問題はない
環境学習施設 の整備	・日立市の地域資源を活かした幅広い分野の研究や交流が生まれ環境都市としての発展につながるよう進めてほしい ・日立市が一緒にやることが前提で、人・自然・歴史・文化そういった多様な資源の見える化 つなぐ化を促し、そこでコミュニティビジネス等も生まれる地域づくりの拠点にしてほしい



諏訪学区各部会からの意見、提案、要望、 (基本計画策定委員会の資料を検証をして県に出した資料より抜粋)



検討項目	提案・要望・質問
産廃物の受入体制	放射線量、ガス監視設備を導入をお願いします
埋立造成計画や貯留構造物	廃棄物の特性や盛り土崩壊の教訓を生かした設計をお願いします 頻発する集中豪雨の水害のシュミレーションを示して下さい
浸出水量と処理日数	1～2か月に亘るシュミレーションを実施して下さい
洪水調節容量の算定方法	1/200年確率、時間強度200mmについても比較し設計に反映して下さい 流出係数の計算過程を示して下さい
維持管理体制の非常時施設マニュアル	激甚災害を想定した対応方法を示して下さい
処理フローの検討	放射性物質セシウム134、セシウム137除去装置の設置を検討して下さい
生活環境調査	環境影響評価(環境アセスメント)を実施して下さい
放射能を帯びた廃棄物	受入基準の記載をして下さい
地質水文調査	湛水部は堤体の支持部となる部位であり、詳細に調査して下さい 水文調査結果の地点2からph8.80の廃水が鮎川に流入しているのを調査して下さい 貯留堤は湛水埋立の直上に位置するように見えるので鉛直遮水工が必要では？
化学物質の選定	留意すべき事項に経年劣化と品質ばらつき評価の記載をして下さい
浸出係数の月間平均気温	アメダスの標高は34m、処分場は180mで高度差が大きく気温補正が必要では？
通学時間を考慮した工事車両対策	下校時間の14時頃を考慮して下さい



地域振興策

- 基本計画策定
委員会は施設関連だけで
地域振興策はないのか
- 地域振興策の具体的な
検討時期はいつになるのか

道路・交通安全部会

- 新設道路の
工事期間と、施設工事の
車両通行期間の安全対策を
早急に明確にしてほしい